

再商品化手法の改善のためのシナリオ設定に向けた整理

1. 現行制度の下で導入が可能で一定程度の効果が期待できる措置

- リサイクル手法に適したベール品質に応じた市町村の選別
- PET・PSの積極的な利用
- 複数年契約
- 市町村によるリサイクル手法の選択
- 地域循環への配慮、地域偏在への対応
 - ・ 再商品化製品利用製品の利用拡大
 - ・ 市町村の収集量の増加

2. 現行制度の下で導入は可能であるが効果の程度は実施してみないとわからない措置

- 特定事業者と再商品化事業者の対話を通じた環境配慮設計の推進

3. 現行制度の変更が必要な措置ではあるがその導入には大きな反対がない措置

- 製品プラの混合収集
- 容器包装への表示の改善

4. 現行制度の変更が必要な措置であり現時点でその導入には反対がある措置

- 材料リサイクルで発生する他工程利用プラのケミカルリサイクルでのカスケード利用
- 市町村と再商品化事業者のそれぞれの選別作業の一体化